

様式第1号（第3条関係）

【北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会】会議概要

会 議 名	北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会第14回全体会議
事 務 局	学校運営部学校施設管理課
開催年月日	令和5年2月21日（火）
開催時間	18時30分～19時22分
開催場所	鹿浜西小学校体育館
出席者 (敬称略)	<p>【統合地域協議会委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北鹿浜小学校 渡邊 淳子、矢部 俊久、添田 陽子、矢萩 惠一、本庄 一広、 鹿俣 昇</li> <li>・鹿浜西小学校 野辺 陽子、鈴木 健治、松村 哲男、野辺 慎一、鈴木 三枝子、 竹内 桃子、山下 宗孝、奥井 秀美</li> </ul>
	<p>【足立区】</p> <p>教育長 大山 日出夫  学校運営部長 森 太一  学校施設管理課施設管理係長 岡田 聡  施設管理係主任 高橋 秀昭、施設管理係員 尾花 龍太  適正配置担当係長 角谷 暢彦、大高 隆寛  学校支援課学校地域連携担当係長 三ヶ島 誠次男</p>
会議次第	別紙のとおり
資 料	1 次第 2 足立区開かれた学校づくり協議会 チラシ
そ の 他	傍聴者はなし

## 様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

鹿浜未来小学校の開かれた学校づくり協議会について

### ○野辺（陽）議長

それでは只今から議題に入りたいと思います。議事進行につきましては、皆さま方のご協力をよろしくお願いいたします。それでは鹿浜未来小学校の開かれた学校づくり協議会についてということで、まずは開かれた学校づくり協議会のご担当の方から説明をお願いしたいと思います。

### ○三ヶ島係長

皆さんこんばんは。学校支援課学校地域連携担当の三ヶ島と申します。どうぞよろしく申し上げます。皆様のお名前を確認させていただいたところ、皆様両校の開かれた学校づくり協議会の委員ということで、何度もお耳にされたり目にされたりしているとは思いますが、こちらの黄色いチラシを念のため添付させていただきました。あらためて開かれた学校づくり協議会は何のためにあるのかというところを押さえていただけたらと思います。

開かれた学校づくり協議会は学校と地域と家庭を繋いで地域性を活かした特色ある学校をつくることを目的として、最終的にめざしているのは、確かな学力を身に付け、たくましく生き抜く力や豊かな心を育てることをめざしています。3つの目標としまして、「地域に根ざした特色ある学校づくり」「学校支援活動の充実」「家庭と地域の教育力の向上」の3つを掲げています。それを達成するための5つの機能としまして、「協議機能」「評価機能」「支援機能」「調整機能」「実施機能」の5つが挙げられています。特に今、各校の開かれた学校づくり協議会にお邪魔しますと、「評価機能」の部分で学校関係者評価を進

めている学校が特に多いと思われま。裏面は足立区自体が開かれた学校づくり協議会型のコミュニティ・スクールというものを推進していますので、ぜひそちらに向けて取り組んでいただけたらと思っております。

これから新しく開かれた学校づくり協議会が立ち上がると思いますが、区から学校経由で皆さんにお願いしたいこととしては、例年4月の段階で委員名簿の提出依頼をさせていただいています。新しくなれる校長先生から委員の推薦をさせていただいて、委嘱状の発行という流れになります。委嘱状の発行は第1回の協議会に間に合うようにこちらで作成しまして、当日に校長先生もしくは担当からお渡しさせていただくという流れになりますので、まずは委員の方を、できましたら4月の時点で、コアになるメンバーが決まっているのがよろしいかと思ひます。PTAの皆様の場合、6月までメンバーが決まらないという形が多いと思ひますが、まず地域の方たちがある程度決めておいていただいて、そこに後からPTAの方が入りますという形でも全然構いませんので、早めに決めておいていただけたらと思ひます。同じ4月には、補助金の申請依頼をさせていただいています。最大額28万円、年間の補助金という形で例年執行させていただいていますが、予算案の協議をさせていただいて、協議会の了承が得られたものをご提出していただいて、その後に振り込まれる形になりますので、この2点を取り急ぎ必要になる部分ではないかなと思ひます。

その後実際に活動を始めていただいて、年間何回会議をやるかとか、といったところが後々決めていただいてよろしいと思ひます。

現在は、令和4年度の補助金の精算を行っています。例年6月（出納閉鎖期間）までかかってしまいますので、なるべくお早めに精算を決めていただいてご提出いただけると助かります。

委員の人数に関しましては、特に上限はありません。ただ、協議が主体になる会議だと思っておりますので、あまり大勢の人数になってしまうと協議にもならないのではという心配がありますので、ご配慮いただけたらと思います。学校運営協議会（CS）は、上限が一応設定されていまして、15名という形になっています。足立区が推進している開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクールであれば、学校運営協議会が役員会という形になるので、最大で15名の役員とメンバーがあと何人という形になると思います。今ざっと北鹿浜小と鹿浜西小の委員の人数を見させていただくと、大体20名ずつぐらいという形で、特に多くもなく少なくもなくてと思います。多い学校だと40人ぐらいいるところもありますし、少ないところだと20人少々のところもあります。

開かれのメンバーが15人で、学校運営協議会が10人ぐらいになってしまうと、2回同じ会議を開催する感じになってしまうこともあるので少々弊害になっているようなところも正直あります。CS校を、ゆくゆくはめざしていただきたいというところもあるので、コアなメンバーはそんなに多くしないほうがいいのかというのいろいろな学校を回った感じの印象です。年間の開催回数に関してですが、開かれ要綱（案）、運営委員会要領（案）には、開かれ年3回以上、学校運営協議会6回以上の記載がありますが、特に決め事はありません。皆様で協議の上、決めていた

だけたらと思います。少ないところだと2回とか3回というところも正直あります。多いところだと10回というようなところもあります。そこにプラス役員会だけを10回やって、開かれの協議会のほうを年間3回というような形にしている学校もあります。

地域によって様々だと思いますので、ご検討いただけたらと思います。

今ざっくりお話しした形ですが、細かいところで何かご不明な点がありましたら、皆様から直接ご連絡いただいても結構です。学校支援課学校地域連携担当までよろしくお願いします。以上です。

#### ○野辺（陽）議長

どうもありがとうございました。それでは鹿浜未来小学校の開かれた学校づくり協議会につきまして、これからどのようにして委員を決めたらいいのか、どういった方になっていただくのか、いろいろなことを皆さまのご意見で決めていきたいと思っております。皆さん、開かれの委員さんなんですよね。ではどなたに伺ってもいいですよ。添田さん。どんなふうにも委員を決めるか。

#### ○添田委員

まず委員長さんを推薦していただいて、委員長さんと校長先生で進めていただくというのはいかがでしょうか。

#### ○野辺（陽）議長

二つの学校でそれぞれ先生を交えて話して決めたらどうかということですよ。私もそれがいいなと思っておりますけれども、ここで話し合ってもきっと決まらないと思うので、各学校に持ち帰って、北鹿と鹿西でそれぞれ、全部で17、8人でよろしいですかね。両校で合わせて。

#### ○三ヶ島係長

人数の上限は特に設けていませんので極端に言ってしまえば、両校合わせた人数で提出していただいても問題ないです。合わせてだと40人くらいになると思います。ただ人数的には問題ありませんが、協議をするのは難しいのではと思います。あと、今メンバーであるPTA会長なども「もう6年生だから卒業するので私は無理です」という方も出てくると思われます。学校によってはPTA正副会長だけ入っているところもあれば、正副会長から会計など、役職がついている方は皆様入っているところもあります。あまり増えてしまうとどこまでも増えてしまうので、ある程度は絞られてもいいのかなと思います。

#### ○野辺（陽）議長

ありがとうございます。先日、北鹿の会長さんと私とでちょっとお話しをしたんですが、やはり各学校でお話ししながら開かれの委員さんを中心に、統合の委員さんと言ったらいいでしょうかね、中心に決めていったらいいと思うということですよね。他にご意見ございますでしょうか。よろしいですかね、そういうことで。各学校で。

#### ○渡邊会長職務代理

多分今ここでは決められないと思いますので、それぞれの学校で、今言った40というわけには、ちょっと多すぎるので、半分ぐらい、10ぐらいずつをちょっと合わせて、推薦していったところですかね。いかがですか。という話ではちょっと言っていたんです。で、お互い持ち寄ってというか、かぶる方もいらっしゃるし、また全然ちょっと変わってきてしまうと、極力この体制は崩したくないと個人的には思ったりしていたんですけれども、それぞれ校長先生とよく話し合って、持ち寄っ

て、皆さんが納得していただくような形で決めていけたらなと思っております。

#### ○野辺（陽）議長

ありがとうございました。大体そういうことなんですけれども。よろしいですか。

#### ○三ヶ島係長

すみません、蛇足的に1点だけ。各校それぞれ今まで開かれをやられてきてどうしてもこれは残したいというような想いとか行事とかがおそらくあるのではないかと思います。そこは次に引き継ぐためにも、もしくは無くしてしまうのかもしれませんが、例えば鹿浜西小はこういったことは残したい、北鹿浜小はこういったことは残したいというところは持ち寄られたほうがよろしいのではないかと思います。それを出し合うのが1回目の協議の場でも良いのではと思います。人数もぴったり半分で20人にしろではなくても、30人くらいになってしまっても、先ほど言いましたけれども40人になってしまっても全然構わないです。想いのある人が集まってくれたほうがよろしいかと思います。ご検討ください。

#### ○野辺（陽）議長

了解いたしました。他にご意見ありましたら挙手をお願いいたします。

#### ○矢萩委員

質問でもいいですか。

#### ○野辺（陽）議長

はい。矢萩委員。

#### ○矢萩委員

開かれた学校づくり協議会から新しい学校のほうに決まって、その後に学校運営協議会のほうに進むかどうか、というような話が出ていましたけれども、開かれた学校づくり協議会と学校運営協議会の違いがあれば、分かりやすく説明していただい

るとありがたいなと思うんですが。

### ○三ヶ島係長

学校運営協議会はとにかく熟議をする場であって、議論を重ねる場所ですという言い方をよくされています。開かれは、東京都や国では、地域活動協働本部だというような言い方をされている部分があって、実際に動く人たちの場所ですということです。学校運営協議会で熟議を重ねながら、学校とともに運営方針を立て、開かれが動くというのが国と都で言われていることです。足立区は一体型となっている部分があるので、開かれの中に役員会があるような、よくPTAとか青少年委員会とかでもそうだと思いますが、役員会があって、他のメンバーがいて、役員がある程度決めてメンバーと一緒にやっという形になっているかと思います。それと同じような形が開かれの中で役員会的な役割を果たす学校運営協議会と位置付けています。そして実際に活動される方たちが開かれた学校づくり協議会のメンバーになると考えています。開かれた学校づくり協議会の中にはPTAや町会の方々がいらっしゃって、みんなでこの学校を良くするためにどうすればよいか考えたときに、例えばPTAの役割はこれ、町会の役割はこれという分担を行うのが学校運営協議会で、実際に活動という形にしていくのが開かれた学校づくり協議会になっていくと思います。少なくとも学校運営協議会は、実際に活動するというよりは検討を重ねたり、熟議をする場所だという形になります。よろしいですか。

### ○野辺（陽）議長

他にいかがでしょうか。

### ○山下委員

今、矢萩委員のご質問の関連なんですけ

れども、学校運営協議会のお話があって、熟議の部分はよく理解したんですが、機能の中に教職員の任用に関する意見という項目があります。このあたりはまあ任意とありますけれども、実際にどの程度の、あるいはどのような事例があるのか、任用というのは非常に、ちょっと違う形でデリケートなところがあって、もちろん都教委さんの人事に、差配によるものですが、任用という部分についての実際、あるいは事例等を教えていただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

### ○三ヶ島係長

任用の部分に関しましては、毎年9月頃にCS校に対して教職員の任用に関する意見はありますかという調査をかけています。どこの学校がどのようなことをというのはお伝えできませんが、例えばこの先生を残してほしいとか、中学校の部活動の指導ができる先生を配置してほしいといったような意見書などが出されています。これらをまとめたものを東京都教育委員会に提出するというような流れになります。実際にどれだけ反映されるかというところはわかりませんが、コミュニティ・スクール枠があって、出された意見をある程度反映してくれているらしいという話は聞いています。

### ○森部長

ちょっと補足です。人事に関する意見が言えるというところとすごく大げさで、例えばコミュニティ・スクールがあつた先生を何年か残してくださいとか、絶対異動させては嫌だとかそういう意見というイメージがありますけれども、実際にはそうではなくて、コミュニティ・スクールは学校の方針、運営方針をこうやっという形とみんなで熟議をして決めると。例えばICTに強い

学校をつくろうよというふうになったら、ぜひ東京都教育委員会にICTに強い先生を配置してくださいねと、そういう意見具申ができるという、そんなイメージなんです。今までは、開かれた学校づくり協議会の中だと、意見も言うし応援団だしというような両方合わさった、もう一回言い直すと、学校づくりについての方針も熟議をしますし、学校がやろうとなったらみんな応援団で一生懸命やるじゃないですか。それが今の足立区の開かれた学校づくり協議会なんですけれども、国が言っているのは、コミュニティ・スクールは学校の在り方を決めるぞという、熟議をする形。で、一方で地域学校協働本部という、学校の応援団が別にあるんですね。国は分けているんだけど、足立区は先行で開かれた学校づくり協議会がありますので、応援団と熟議をする組織が合体したうえにコミュニティ・スクールというふうに言われますので、ちょっと分かりにくくなってしまっているのは確かなんですけれども。ただ、法律上でいうと、先ほど山下先生が仰ったとおりのいろいろな意見が言えたり、熟議をしながら学校の運営方針を校長先生なんかにも言えるし、東京都にも意見が言えるという、そこら辺がちょっと違うところだということなところなんです。

**○山下委員**

ありがとうございます。

**○野辺（陽）議長**

よろしいでしょうか。私たち今まで開かれた学校づくり協議会でやってきたんですけれども、教育委員会からはCSになるようにみたいな話は何回もありましたけれども、面倒くさいから統合してから考えようというような気持ちで私自身はいたんですが、もう少し、この体育館は音響が

悪いので申し訳ありませんが聞きづらくて、ちょっと細かいところが聞こえなかったんですが、とりあえず開かれの委員さんを決めて、そしてそこで今後これからどうするかというのを決めていったらいいなと思います。

**○森部長**

私たちも急に、統合したからコミュニティ・スクールというふうには全然思っていないんです。ある程度統合した、今までどおりの開かれた学校づくり協議会の形を作って、もし新しい試みをするのであれば、コミュニティ・スクールというのを検討していただくと大変私たちもありがたいし、一緒にコミュニティ・スクールをみんなで新しい形で作っていききたいなと思っていますので、まずは第一段階で開かれた学校づくり協議会を、形を作っていたのが第一優先だというように思っています。

**○野辺（陽）議長**

他にはございますか。北鹿の校長先生、いかがですか。よろしいですか。

**○鹿俣委員**

大丈夫です。

**○野辺（陽）議長**

はい。よろしいですかね、他に。もしございませんでしたら、今お話ししたとおりのとりあえず開かれのメンバーを決めて、そこで1回会議を開きまして、この統合地域協議会とは別に、準備会みたいなものを私たちが開いていきたいと思いますが、それでよろしいですか。

（異議なし）

はい、ありがとうございます。それでは少し検討させていただいて、そういった方向に進みたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。もうお話しするこ

とは尽きませんが、一応今日の会議としてはここまでということで、先ほど申し上げましたように北鹿と鹿西でそれぞれ委員の選出をしていただいて、一堂に会してお話合いを進めていくということでよろしいですね。はい、ありがとうございます。では、ここまでです。司会の鈴木副会長に戻します。

(議事終了)

以上